

月間論調

2010年 7月

朝鮮通信社

主
要

—南朝鮮哨戒艦沈没事件—

1~31

◆朝米大佐級実務接触

- ・大佐級実務接触を米国側に提案 朝鮮側団長が回答通知文
- ・朝鮮、検閲団の現地調査要求 第1回接触
- ・朝鮮、検閲団現地調査の具体案提示 第2回接触
- ・朝鮮、検閲団現地調査の優先を主張 第3回接触

◆北側の措置・主張

- ・南の「対北糾弾決議案」通過を糾弾
- ・米国の「停戦協定違反」主張を非難
- ・安保理「非難」文書の場合、決死大戦も辞さない
- ・朝鮮外務省代弁人回答を安保理文書に配布
- ・安保理議長声明「朝鮮の立場留意」は外交の勝利
- ・安保理議長声明、米国・南朝鮮の愚かな誤算証明
- ・米・南朝鮮海上連合訓練計画を非難
- ・連合海上訓練に強力な核抑止力で対抗
- ・対話と戦争のすべてに準備ができています
- ・米国・南朝鮮「外務・国防相会談」と戦争騒動を糾弾
- ・第2の6. 25を招く北侵実動演習を断罪

◆北側の反応一覧(7月)

◆7月の主な報道(日本の通信、新聞)

—朴宜春外相がARF出席、東南アジア訪問—

平壤出発 6者会談で平和協定締結・非核化実現に努力 ARF演説
各国要人と会見

教化中の米国人が自殺図る

金正日総書記

32~33

